

2024年5月23日

関西国際空港における藻場プロジェクトが 「Green Airports Recognition 2024」でプラチナ賞を初受賞

関西エアポート株式会社は、ACI Asia-Pacific & Middle East*主催の「ACI Green Airports Recognition 2024」において、関西国際空港で取り組む「豊かな藻場環境とブルーカーボンの創出プロジェクト」が、最上位となるプラチナ賞を受賞したことをお知らせします。

「Green Airports Recognition」とは、アジア太平洋・中東地域の空港を対象に、環境分野に関連する持続可能なプロジェクトの公募を行い、優れた成果を上げた空港を表彰するものです。2024年の公募テーマは“生物多様性と自然環境に基づくソリューション”であり、当社は空港の建設時より継続して取り組んできた藻場造成と保全にフォーカスし、藻場を通じて空港及び地域の生物多様性の保全や、CO2削減に貢献するプロジェクトについてエントリーを行いました。

5月22日（水）に、サウジアラビアのリヤドで開催された「ACI アジア太平洋中東地域総会」において授賞式が行われ、代表取締役社長 CEO 山谷 佳之が出席し、表彰を受けました。

関西エアポートグループは、引き続き、全社一丸となって環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、公共インフラである空港の運営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*ACI Asia-Pacific & Middle Eastとは

ACI（国際空港評議会）の組織の1つ。アジアと中東の49の国・地域で617の空港を運営する131の会員を代表し、香港に本部を置く国際機関で、空港のための基準や政策に関する様々な情報を提供しています。



授賞式の様子



トロフィー



関西国際空港護岸の藻場

Green Airports Recognition 2024 について

- 募集テーマ Biodiversity and Nature-Based Solutions
(生物多様性と自然環境に基づくソリューション)
- 受賞プロジェクト Creating a rich seaweed bed and blue carbon
(豊かな藻場環境とブルーカーボンの創出プロジェクト)

* 空港規模に応じてカテゴリーに分けられ、選考基準に応じて「プラチナ賞」「ゴールド賞」「シルバー賞」が設けられています。当社は年間利用者数1500万人～3500万人カテゴリーにおいて、「プラチナ賞」を受賞しました。

Thank you, Anniversary
 | 

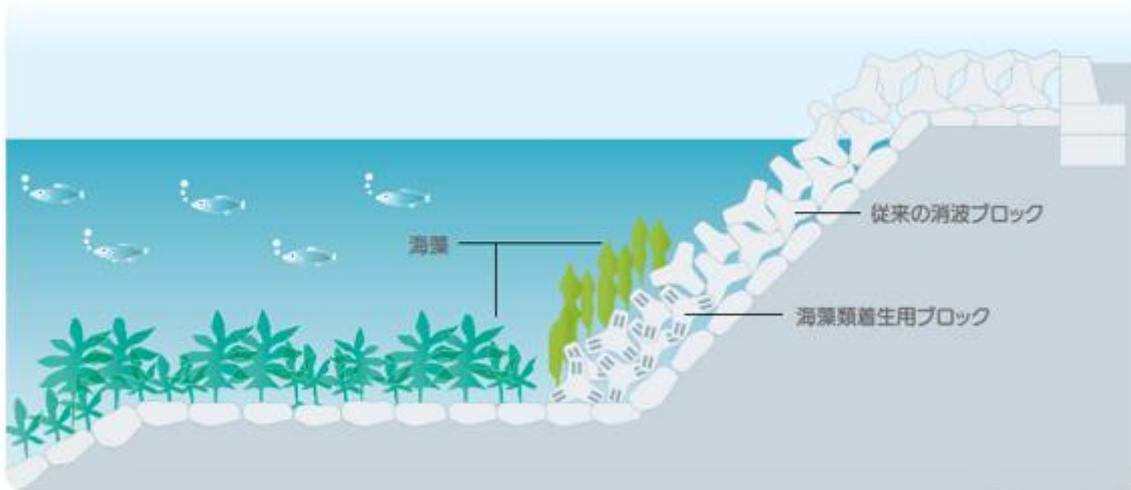
【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201

関西国際空港の藻場環境の創造について

関西国際空港は海上空港として、計画時より海域環境との調和をめざし、海域生物の生育場となる藻場環境の創造に積極的に取り組んできました。護岸の大部分に採用した緩傾斜石積護岸は、広い範囲に光が届くため海藻が育ちやすく、また、海藻類の種付けやモニタリング結果をふまえた藻場の保全に積極的に取り組んできたことにより、豊かな藻場環境が形成され、海の生態系の多様性につながっています。

○緩傾斜石積護岸





関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約35,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構